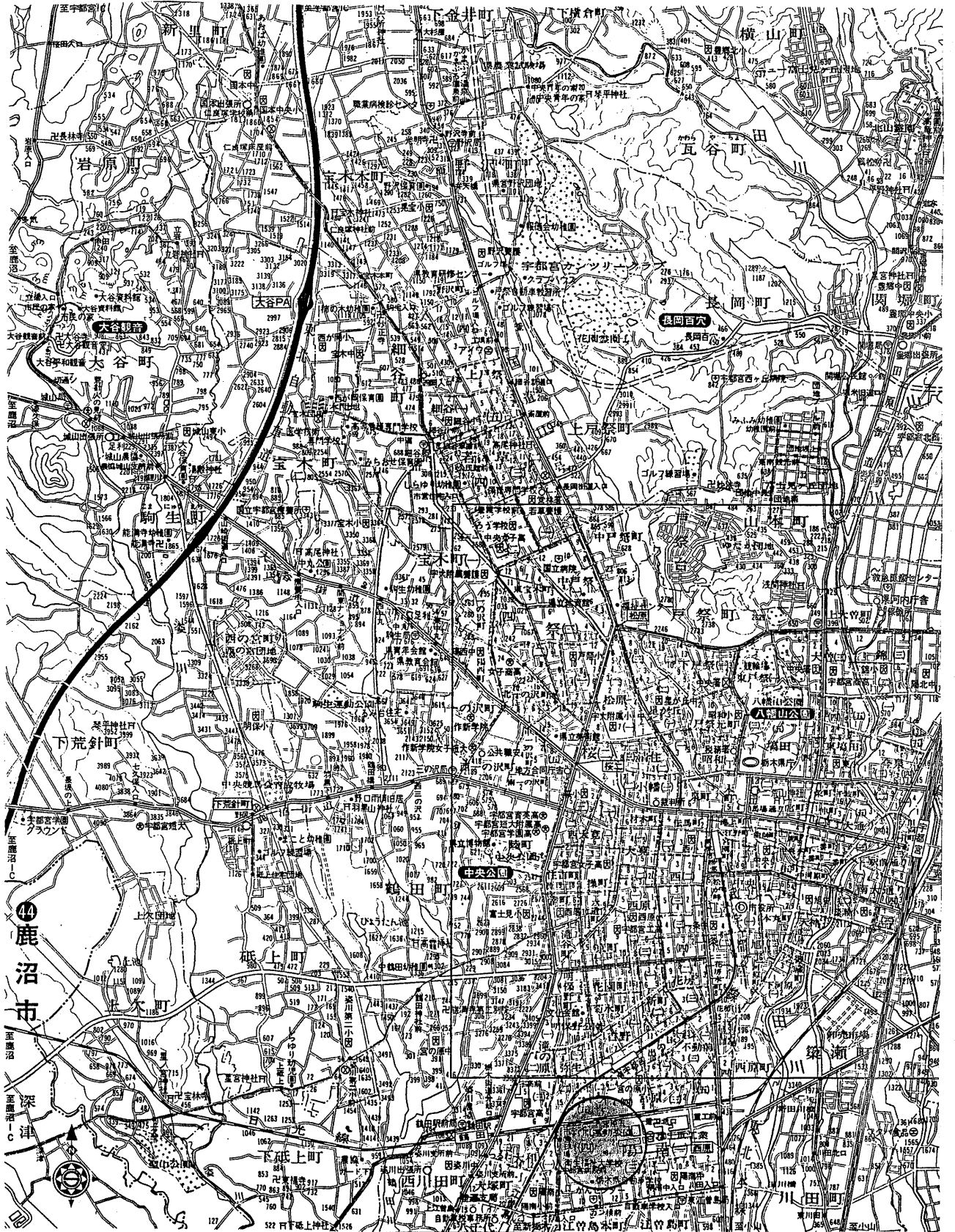


# 案内図

S=1:45,000





土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 宮原市営住宅建替工事に伴う地質調査

調 査 年 月 日 / 年 6 月 26 日

調 査 地 点 宇都宮市陽南4丁目/番

標 高 KBM -0.06 m

~ / 年 6 月 27 日

ボーリング孔: No. 1

機種 KR -100

孔内水位(自然, 泥) 2.70 m

調査責任者

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験					採取試料・原位置試験			
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 度 m	打撃回数 N	10 cm ごと の打撃回数	74μm通過質量百分率 (%)	試料番号	深 度 m	方 法		
0		0.20	0.20	盛土	黒	褐	含水-中位 シルトとロームの混合土	1.15	4					1	1.15	標準貫入試験
1		0.25	0.05	表土	黒	褐	又、径φ40m/m前後の丸礫を上部に混入	1.45	30	1	1	3		1	1.45	
2		1.75	1.50	ローム	茶	褐	含水-中位 シルト質土	2.15	2	1	1			2	2.15	
3		2.90	1.15	軽石	黄	褐	含水-中位 粘性-小位	2.65	50	23	27			2	2.65	
4				ローム	茶	褐	含水-中位 粘性-小位	3.15	3	1	1	1		3	3.15	
5		5.20	2.30				含水-大位 粒径不均一全体に、やや粘土化を呈し下部に有機物を多量に混入する層を呈す	3.45	30					4	3.45	
6		5.40	0.20	微細砂	暗	灰	含水-大位 粒径不均一全体に、やや粘土化を呈し下部に有機物を多量に混入する層を呈す	4.15	5	1	2	2		4	4.15	
7							含水-大位 粒径不均一全体に、やや粘土化を呈し下部に有機物を多量に混入する層を呈す	4.45	30					4	4.45	
8				砂	茶	褐	含水-大位 粒径不均一全体に、やや粘土化を呈し下部に有機物を多量に混入する層を呈す	5.15	12	1	2	9		5	5.15	
9							含水-大位 粒径不均一全体に、やや粘土化を呈し下部に有機物を多量に混入する層を呈す	5.45	30					5	5.45	
10		10.34					含水-中位 粘性-中位全体に有機物を多量に混入する層を呈す	6.15	46	16	13	17		6	6.15	
11							含水-中位 粘性-中位全体に有機物を多量に混入する層を呈す	6.45	30					6	6.45	
12							含水-中位 粘性-中位全体に有機物を多量に混入する層を呈す	7.15	50	14	36			7	7.15	
13							含水-中位 粘性-中位全体に有機物を多量に混入する層を呈す	7.35	20					7	7.35	
14							含水-中位 礫は径φ10~30m/mの角礫主体 砂は粗砂で角ばった形状を呈す	8.15	50	21	27	2		8	8.15	
15							又、所々に径φ100m/m未満の玉石点在	8.36	21			1		8	8.36	
16								9.15	50	19	28	3		9	9.15	
17								9.36	21			1		9	9.36	
18								10.15	43	14	15	14		10	10.15	
19								10.45	30					10	10.45	

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー
- P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー
- D: デニソン型サンプラー

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 宮原市営住宅建替工事に伴う地質調査

調 査 年 月 日 1 年 6 月 29 日

調 査 地 点 宇都宮市陽南4丁目5

標 高 KBM 土0.00 m

~ / 年 7 月 / 日

ボーリング孔: No. 2

機種 KR-100

孔内水位(自然, 泥) GL-2.80 m

調査責任者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験					採 取 試 料 ・ 原 位 置 試 験					
				土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	深 さ m	打 撃 回 数 貫入量 cm	10 cm ごと の 打 撃 回 数			74μm 通過 質量 百分率 (%)		試 料 番 号	深 さ m	方 法	
0					盛土	暗褐	0:80mまでシルト及びロームの混合土。											
1		1.20	1.20	△△△	鹿沼土	黄褐	0.80mよりコンクリー及びビニールなど混入する。又、φ10~50mm程度の円礫含む。	1.15	15	6	6	3			1	1.15		
2		1.90	0.70					1.45	30					2	1.45			
3					ローム	茶褐	含水一大位 粒径φの2~4mm 全体に粒径均一 φ1~3mmの小礫混入する。	2.15	2	1	1			3	2.15			
4								2.45	30	15	15			4	2.45			
5		4.90	3.00					3.15	5	1	2	2		5	3.15			
6								3.45	30					6	3.45			
7					砂礫	茶褐	含水一中位 粘性一中位 下部に従がい粘土分多くなる。 4.70m付近より細砂含む	4.15	3	1	1	1		7	4.15			
8								4.45	30					8	4.45			
9								5.15	50	20	18	12		9	5.15			
10		10.30					含水一大位 全体に崩壊性を有し逸水著るしい。 主体礫径φ20~40mm 最大礫径φ100mm程度 円礫を呈し上部は、若干ルーズである。 砂の形状は角ばっている。 7.0mより締まった地層を呈す。	5.45	30					10	5.45			
1								6.15	50	10	14	26		1	6.15			
2								6.45	30					2	6.45			
3								7.15	50	14	21	15		3	7.15			
4								7.41	26			6		4	7.41			
5								8.15	50	27	23			5	8.15			
6								8.35	20					6	8.35			
7								9.15	50	24	26			7	9.15			
8								9.35	18		8			8	9.35			
9								10.15	50	29	21			9	10.15			
0								10.30	15		5			0	10.30			

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンブラー
- F: フォイルサンブラー
- P: 標準貫入試験用サンブラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンブラー

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 富原市営住宅建替工事に伴う地質調査

調査年月日 / 年 7 月 / 日

調 査 地 点 宇都宮市陽南4丁目3

標 高 KBM +0.07 m

~ / 年 7 月 4 日

ボーリング孔: No. 3

機種 KR-100

孔内水位(自然, 飽) GL-3.10 m

調査責任者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験						採取試料・原位置試験						
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	打撃 回数	10 cm ことの 打撃回数			74μm通過質量百分率(%)			測定 番号	深さ m	方 法	
0		0.50	0.50		盛土	暗褐	シルト及びロームの 混合土。	1.15	3	1	1	1							
1		1.70	1.20		ローム	茶褐	含水-中位	1.45	30										
2		2.90	1.20	△△△	鹿沼土	黄褐	含水-中位 全体に有機物混入する	2.15	2	1	1								
3							含水-大位	2.45	30	15	15								
4					ローム	茶褐	含水-大位 粒径2~5mm最大8mm位 を呈す。	3.15	2	1	1								
5		5.10	2.20				φ1~3mmの小礫混入	3.45	30	15	15								
6								4.15	6	2	2	2							
7					砂礫	茶褐	含水-中位 全体に有機物混入する 4.80~5.10m間細砂 狭む。	4.45	30										
8								5.15	38	21	9	8							
9								5.45	30										
10								6.15	38	13	12	13							
11								6.45	30										
12								7.15	50	16	30	4							
13								7.39	24			2							
14								8.15	50	18	29	3							
15								8.36	21			1							
16								9.15	50	14	26	20							
17								9.42	27			7							
18								10.15	50	17	28	5							
19		10.38						10.38	23			3							

備考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー
- F: フォイルサンプラー
- P: 標準貫入試験用サンプラー
- O: オーガー
- D: デンソン型サンプラー

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 宮原市営住宅建替工事に伴う地質調査

調査年月日 / 年 7月 5日

調 査 地 点 宇都宮市陽南4丁目3番

標 高 KBM +0.02 m

~ / 年 7月 6日

ボーリング孔: No. 4 機種 KR-1.0.0

孔内水位(自然泥) 3.25 m 調査責任者

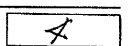
標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験					採取試料・原位置試験						
				土質記号	土質名	色調	記 事	深 さ m	打撃回数 目/cm	10 cm ごと の打撃回数	10 cm	20 cm	30 cm	74μm通過質量百分率 (%)	N 値	試料番号	測定番号	深 さ m	方 法 <sup>1)</sup> 注2)
0		0.30	0.30		盛土	黒	褐	φ20~40mm位の礫及びシルトの盛土である。全体に植物根混入する。											
1		0.37	0.07		表土	黒	褐		1.15	2	1	1							
2		1.90	1.53		ロ	△	茶	褐	1.45	30	15	15							
3		2.90	1.00		軽石	黄	褐	含水中位シルト質土である。	2.15	2	1	1							
4		5.00	2.10		ロ	△	茶	褐	2.45	30	15	15							
5								含水中位全体に少量の有機物含む。φ1~2mmの小礫混入する。	2.45	30	15	15							
6								含水中位全体にφ1~2mmの小礫混入する。粒径均一で均質な地層を呈す。	3.15	2	1	1							
7								含水中位全体にφ1~2mmの小礫混入する。下部粘土分含み4.60mより砂分混入する。	3.55	40	25	15							
8					砂	礫	茶	褐	4.15	3	1	1							
9								含水中位全体にφ1~2mmの小礫混入する。粒径均一で均質な地層を呈す。	4.45	30									
0		10.38						含水中位主体礫径φ20~40mm全体に凝灰質を呈している。	5.15	42	11	12	19						
1								7.0m付近よりφ100~150mmの玉石混入し崩壊性を有す。	5.45	30									
2									6.15	50	18	16	16						
3									6.44	29			9						
4									7.15	50	25	22	3						
5									7.38	23			3						
6									8.15	50	22	22	6						
7									8.39	24			4						
8									9.15	50	21	23	6						
9									9.40	25			5						
0									10.15	50	22	24	4						
1									10.38	23			3						

備 考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンブラー
- F: フォイルサンブラー
- P: 標準貫入試験用サンブラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンブラー



土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 宮原市営住宅建替工事に伴う地質調査

調査年月日 /年 7月 7日

調 査 地 点 宇都宮市陽南4丁目4番

標 高 KBM -0.03 m

~ /年 7月 8日

ボーリング孔: No. 5

機種 KR-100

孔内水位(自然) 3.50 m

調査責任者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験				採取試料・原位置試験					
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 さ m	打撃回数 10cmごとの 打撃回数	74 $\mu$ m通過質量百分率(%) N 値			試料 番号	測定 番号	深 さ m	方 法 注1) 注2)	
0		0.30	0.30		盛土	茶褐	含水-中位 シルトとロームの混合土又、径 $\phi$ 10~40mm程度の少量の礫混入										
1		0.35	0.05		ローム	茶褐		1.15	4	1	1	2			1	1.15	
2		1.85	1.50		軽石	茶褐	含水-中位 シルト質土	1.45	30							1.45	
3		2.90	1.05		ローム	黄褐	含水-中位 粘性-小位	2.15	1	1					2	2.15	
4		4.60	1.70		微細砂	茶褐	含水-中位 粘性-小位	2.54	39						3	2.54	
5		5.00	0.40		砂	茶褐	含水-中位 粘性-小位	3.15	2	1	1				3	3.15	
6					砂	茶褐	含水-大位 粒形均一径 $\phi$ 1~4mm程度又、全体に1~2mm程度の小礫混入	3.45	30	15	15				4	3.45	
7					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	4.15	5	1	2	2			4	4.15	
8					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	4.45	30						5	4.45	
9					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	5.15	50	16	18	16			5	5.15	
10					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	5.42	27						6	5.42	
11					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	6.15	50	21	18	11			6	6.15	
12					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	6.42	27						7	6.42	
13					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	7.15	50	30	20				7	7.15	
14					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	7.32	17						8	7.32	
15					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	8.15	34	8	10	16			8	8.15	
16					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	8.45	30						9	8.45	
17					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	9.15	50	21	24	5			9	9.15	
18					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	9.39	24						10	9.39	
19					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	10.15	50	20	23	7			10	10.15	
20					砂	茶褐	含水-中位 全体に有幾物混入又、下部に進むにつれて砂分含む。	10.41	26						10	10.41	

備 考

注1) 試料採取方法の記号  
 T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー  
 P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー  
 D: デニソン型サンプラー

注2) 原位置試験方法の記号

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 宮原市営住宅建替工事に伴う地質調査

調査年月日 / 年 7 月 / 0 日

調 査 地 点 宇都宮市陽南4丁目 /

標 高 KEM -0.09 m

~ / 年 7 月 / / 日

ボーリング孔: No. 6 機種 KR -100

孔内水位(自然) GL-3.65 m 調査責任者

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	層 厚 m	観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験						採取試料・原位置試験				
				土質記号	土質名	色調	記 事	深 度 m	打撃回数 10cmごとの 打撃回数	74μm通過質量百分率(%)			N 値	試料番号	測定番号	深 度 m	方 法	
0		0.30	0.30	盛土	茶褐	褐	シルト及びロームの混合土											
1		0.40	0.10	ローム	茶褐		シルト質土である。	1.15	2	1	1						1.15	
2		1.95	1.55	軽石	黄褐		含水一中位 全体に少量の有機物混入する。	1.45	30	15	15						1.45	
3		3.20	1.25	ローム	茶褐		含水一中位 全体に少量の有機物混入する。	2.15	2	1	1						2.15	
4				ローム	茶褐		含水一中位 全体に少量の有機物混入する。	2.55	40	15	25						2.55	
5		5.30	2.10	細砂	暗灰		含水一大位 粒径均一である。 粒径φ2~4mm 全体に少量の小礫混入する。	3.15	1	1							3.15	
6		5.80	0.50	砂礫	茶褐		含水一中~大位 全体に有機物を含み5.0m付近より砂混入する。	3.65	50	50							3.65	
7				砂礫	茶褐		含水一中~大位 全体に有機物を含み5.0m付近より砂混入する。	4.15	3	1	1	1					4.15	
8				砂礫	茶褐		含水一中位 全体に少量の小礫混入する。	4.45	30								4.45	
9				砂礫	茶褐		含水一中位 全体に少量の小礫混入する。	5.15	6	1	2	3					5.15	
10		10.37		砂礫	茶褐		含水一中位 全体に少量の小礫混入する。 礫径φ5~10mm程度 砂の形状は丸い。	5.45	30								5.45	
11				砂礫	茶褐		含水一中~大位 全体に有機物を含み5.0m付近より砂混入する。	6.15	48	21	17	10					6.15	
12				砂礫	茶褐		含水一中~大位 全体に有機物を含み5.0m付近より砂混入する。	6.45	30								6.45	
13				砂礫	茶褐		含水一中~大位 全体に有機物を含み5.0m付近より砂混入する。	7.15	50	22	25	3					7.15	
14				砂礫	茶褐		含水一中~大位 全体に有機物を含み5.0m付近より砂混入する。	7.37	22			2					7.37	
15				砂礫	茶褐		含水一中位 全体に少量の小礫混入する。	8.15	50	18	22	10					8.15	
16				砂礫	茶褐		含水一中位 全体に少量の小礫混入する。	8.41	26			6					8.41	
17				砂礫	茶褐		含水一中位 全体に少量の小礫混入する。	9.15	50	24	26						9.15	
18				砂礫	茶褐		含水一中位 全体に少量の小礫混入する。	9.33	18		5						9.33	
19				砂礫	茶褐		含水一中位 全体に少量の小礫混入する。	10.15	50	22	25	3					10.15	
20				砂礫	茶褐		含水一中位 全体に少量の小礫混入する。	10.37	22			2					10.37	
21				砂礫	茶褐		主体礫径φ20~40mm 含水一中位 全体に所処φの100mmの玉石介在する。 崩壊性はなく粘土分を混入し締まった地層を呈す。											

備 考

注 1) 試料採取方法の記号

注 2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンブラー
- F: フォイルサンブラー
- P: 標準貫入試験用サンブラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンブラー